

withコロナでの 地域活動

感染防止対策をしながら行った活動の一部を写真でご紹介します。今後の活動については新型コロナウイルスの流行状況によって変わる場合がありますので、参加される場合は主催団体に最新の情報をご確認ください。



10月18日秋のサロンコンサート(文化交流部会)
音楽は、未知の夢を豊かにして謳歌します。



10月22日校区人権市民集会
(校区人権啓発推進委員会)



11月16日スワッグ作り(環境部会)



11月22日・24日花植え会
(雲雀丘山手自治会)



12月1日福祉部会学習会
「知的障害疑似体験」



12月5日防災訓練(給水訓練)
(花屋敷つつじが丘自治会)



12月13日クリスマス会
(雲雀丘3丁目自治会)



思い出の歌広場(福祉部会)第4水曜日



歩こう会(健康づくり推進委員)



サロンつつじ



花屋敷荘園いきいき百歳体操
毎週金曜日10時から



長尾台くつろぎサロン
第3木曜日

12月1日福祉部会「学習会」開催

福祉部会 梅田 美佐子

講師は「宝塚すみれ隊」宝塚市手をつなぐ育成会の保護者の皆様。知的に遅れのある子どもをもつ親の会として、テーマ「知ってほしいな！わたしたちのこと」知的障害疑似体験を企画し活動をされています。

知的障害とは生活や学習面での発達が同年齢の平均と比べゆっくりしていることを言います。原因はさまざまですが、先天的な脳の機能障害なので親のしつけや生活習慣などは知的障害の原因と全く関係ありません。障害の状況は人によって大きく異なり、状況把握やコミュニケーションが難しかったり感覚過敏を伴うこともあります。

この日の学習会では、知的障害とはどういうものであるか、自閉症やダウン症の特性、一見すると変に見える行動にも本人なりの理由があること、知的障害がある方々がどういうことで困っているかなどを分かりやすく伝えていただきました。疑似体験では、聴覚過敏の聞こえ方、言葉がわからない気持ち、伝えることの難しさ、うまくできない、ゆっくりしかできない気持ちを様々な方法で体験しました。

本人を認めること、出来たことは大袈裟なくらい誉める、誉められれば嬉しいし、頑張れる、自信を持たせることが大事！障害があっても、大切なことは、人として同じ、特別に考え過ぎていたのかな？と、反省。知らないことを沢山教えていただきました。

世の中には理解がなかったり、誹謗中傷がネットに氾濫、悲しい出来事や事件もあり安心して暮らせない！精一杯生きていらっしゃるご本人やご家族が、安心して暮らせる社会を目指して当たり前で生きられる世の中になっていくよう、支援する！という言葉はどう行動に移すか？これからも考えていきたいと思った学習会でした。

長尾台小学校「学校保健委員会」報告

長尾台小学校校区人権啓発推進委員会 梅田 美佐子

11月19日に行われた学校保健委員会は、ほめ達！心のふれあう講演会「ほめ上手、ほめられ上手で、喜ばれる存在に」というテーマです。

吉川隆仁先生の優しい声と穏やかな話し方で始まりました。

3つのお願い①拍手②うなずく③笑顔、これなら出来そう！と内容に聞き入る。ほめるサイクル①自分が変わる②相手が変わる③まずはほめる！理由は後から④自分が成長、言葉にしてしっかり伝えないといけないあと、実感。

ほめられ上手のコツは「どんな人にほめられたいか？」ということで、自分が言われて嬉しいほめ言葉を妄想！

私は「梅田さんという癒されるわぁ」。その言葉をなんと！校長先生に言ってもらえて、心がほっこりしました。

人はプラス思考、マイナス思考あり！出来事はピンチをチャンスに！モノはサービスの価値を発見して、プレゼン上手になると、教わりました。素直に「ありがとう」「嬉しい」と、言葉にしよう。日頃から身近な人をほめようと思える、安心して安全な学びの場と、時間を幸せな気持ちで過ごすことが出来ました。

